

CLUB CONEX FAZ-FIT 2010 組立説明書

発売以来、ご好評を頂いているCLUB CONEX FAZ-FITがブラッシュアップして登場!!

主な特徴

- 1)左右どちらのクラブにも使用可能
- 2)シャフトのロゴ位置がずれないため、バックライン有りグリップも使用可能
- 3)バックライン無グリップを使用することで、シャフト装着向きを6方向に変更可能
- 4)フリーナット方式の採用により、使用中の緩みを解消
- 5)旧FAZ-FITから、シャフト・アダプタを2グラム軽量化

FAZ-FIT 2010 システム構成

- #8282-2301 ウッド(8.5mm)用ホーゼル・アダプタ
- #8282-2302 ウッド(8.9mm)用ホーゼル・アダプタ
- #8282-2303 アイアン(9.4mm)用ホーゼル・アダプタ
- #8282-2401 ウッド(8.5mm)用シャフト・アダプタ
- #8282-2402 ウッド(8.9mm)用シャフト・アダプタ
- #8282-2403 ウッド(9.4mm)用シャフト・アダプタ
- #8282-2501 ホーゼル・アダプタ・インストレーション・ツール(H.A.I.T) ウッド 8.5/8.9mm用
- #8282-2502 ホーゼル・アダプタ・インストレーション・ツール(H.A.I.T) アイアン 9.4mm用
- #8282-2601 FAZ-FIT 2010専用レンチ

※H.A.I.T種とレンチについては、旧FAZ-FITにも使用可能です。



- 左右兼用 ●カーボン・スチールシャフト兼用
- ホーゼル・アダプタ: 4.1~4.6g
- シャフト・アダプタ: 3.2~3.6g
- ※オーバーホーゼルのヘッドには対応していません。

※一部、商品と画像は異なります。



※ホーゼル・アダプタはアダプタ基部とコンプレッション・ナットからなっています。コンプレッション・ナットの装着向きにご注意下さい。(左写真参照)

【注意点】

- ・旧モデルのFF-II、旧FAZ-FIT、4-PLAY、FAZ-FIT V.2等とは互換性はありません。
- ・FAZ-FIT 2010システム組立時は、ホーゼル・アダプタを先にヘッドに組み付けた後、シャフト・アダプタをシャフトに接着して下さい。
- ・FAZ-FIT 2010はクラブ・コネックス FAZ-FIT 2010専用レンチ(8282-2601)が無いと、使用できません。専用レンチ以外で締め付けた場合、重大な事故を引き起こす可能性があり、メーカー保障の対象外となります。※クラブコネックス UW-1 ユニバーサルレンチ(8282-1501)、旧FAZ-FIT専用レンチ(8282-0601)は使用可能です。
- ・適切な組付けには、ホーゼル・アダプタ・インストレーション・ツール(8282-2501/8282-2502)が必要です。必ず、ご用意下さい。
- ・FAZ-FIT 2010ホーゼル・アダプタは、平均してスイング・ウェイトで4ポイント程度増加するため、通常組立時のスイング・ウェイトを再現するためには、3~4g程度、軽量のヘッド使用を推奨致します。
- ・シャフトをヘッドに挿入しないため、シャフト・メーカーの指示値よりも、1.25インチ、チップカット長を長めにカットすることを推奨いたします。ただし、チップ・パラレル長を確認した上で、チップカット長は調整して下さい。
- ・グリップは、少なくとも52g以上の重量があるものを推奨致します。
- ・ホーゼル・コネクターとシャフト・アダプタの過剰な締め付けにご注意下さい。過剰な締め付けはネジ山の破損の原因となり、メーカー保障対象外となります。
- ・アダプターは各サイズに対応したホーゼルに使用して下さい。また、シム等をホーゼルアダプタの接着時に使用することも、接着不良や怪我の元ともなり得ますので、お止め下さい。
- ・コースでの使用に際しては、コネクター周辺に付着した水分や塵芥をこまめに取り除いて下さい。
- ・時々、綿棒やベンジン等を用いて、ネジ山や溝を掃除して下さい。
- ・ヘッドとシャフトの組み合わせを長期に渡って変更せず、使用し続ける場合には、コンプレッション・ナットを接着剤等で固定し、ネジ内部への水分や異物の混入を防いで下さい。
- ・温度・湿度の劇的な変化はアダプターや、クラブに悪影響をもたらしますので避けて下さい。また、異常な高温もしくは低温環境でクラブを保管することの無いよう、ご注意下さい。

○ホーゼル・アダプタの装着



手順 1.

コンプレッション・ナットのネジ山が上側(シャフト側)を向くようにアダプタ基部を通します。接着を確実なものにするため、サンド・ペーパー等を用いて、接着面の表層を軽く研磨します。研磨後、アセトンやベンジンで脱脂します。



手順 2.

接着剤を用意します。超速乾タイプよりも、硬化開始まで一定の養生時間を要するタイプの方が、作業は容易です。グラスビーズは使用しないで下さい。ネジ部分に入り込み、ナットの動作不良の原因となります。まず、ヘッドのホーゼル内部に、接着剤を塗布します。ホーゼル・アダプタの挿入部には、塗布しないで下さい。コンプレッション・ナットを固着させないように、ホーゼル内部への接着剤のつけ過ぎは避けて下さい。溢れた接着剤が、ナットを固着させ、動作不良を引き起こします。



手順 3.

ホーゼル・アダプタに、ホーゼル・アダプタ・インストレーション・ツール(H.A.I.T)を挿し、コンプレッション・ナットをH.A.I.Tに接する位置まで上方に持ち上げます。この状態でホーゼル・アダプタの挿入部に接着剤を塗布します。コンプレッション・ナットを持ち上げながら、ホーゼルにアダプタを最後まで押し込みます。



手順 4.

H.A.I.Tを抜き取り、ホーゼル・アダプタ上部に溢れた接着剤等が残らないよう、綿棒やアセトンで取り除きます。この時、コンプレッション・ナットのネジ部に接着剤をつけないよう、ご注意下さい。コンプレッション・ナット底部とホーゼル上端が接する箇所にも溢れた接着剤が残っていますので、ホーゼル・アダプタを一旦、持ち上げて、入念に接着剤を取り除いて下さい。この部分に接着剤が残っていると、コンプレッション・ナットが廻らず、シャフトの組み付けが出来なくなります。



手順 5.

確実に接着剤を取り除いたら、もう一度H.A.I.Tを挿し、アダプタと噛み合わせて、最後まで挿入されていることを再確認し、写真のようにH.A.I.T上部のラインとヘッドのリーディング・エッジが平行になるように、アダプタの向きを調整します。この作業の精度が、シャフトとヘッドの向きを左右しますので、慎重に行ってください。調整したら、H.A.I.Tを抜き取り、接着剤の硬化を待ちます。



手順 6.

接着剤が硬化し始めたら、コンプレッション・ナットを専用レンチで廻し、固着を防ぎます。数回に渡ってこれを繰り返すことで、接着剤の残余物も取り除くことが出来ます。アセトンを使用してホーゼル・アダプタの内外を拭き取り、コンプレッション・ナットが自由に廻ることを確認して下さい。コンプレッション・ナットが廻らない場合や、がたつきが生じている場合は、一旦、ホーゼル・アダプタを外し(4ページ、「ホーゼル・アダプタの取外し」参照)、「ホーゼル・アダプタの装着」手順 1 からやり直して下さい。接着剤の所定硬化時間経過後に、使用して下さい。

○シャフト・アダプタの装着



手順 1.
接着を確実なものにするため、専用レンチの穴にシャフト・アダプタを挿し、サンド・ペーパーやリーマー等を用いて、接着面の表層を軽く研磨し、アセトンやベンジンで脱脂します。



手順 2.
シャフトのカットは、規定チップカット長に、1.25インチ加えることを推奨致します。これはシャフトをヘッドのホーゼルに挿入しないため、通常組立時に較べて、クラブの先端が軟らかく仕上がってしまうことを避けるためです。ただし、規定チップカット後のチップパラレルの長さが2.75インチに満たない場合は、可能な分だけ、チップカット長を長くして下さい。シャフト・アダプタとの接着には、1.25インチの追加チップカットを行った後、1.5インチのパラレル長が必要です。



手順 3.
ノギス等を用いて、シャフトのチップ先端から0.95インチの箇所にマスキング・テープを巻きつけ、マスキング・テープよりも先端側を研磨し、脱脂して、接着の準備をします。



手順 4.
シャフトの12時の位置(クラブを構えた時の上側)にしたい箇所のマスキング・テープ上に、マーキングをします。



手順 5.
接着剤を用意し、シャフト・アダプタ内部とシャフトのチップ双方に塗ります。シャフト・アダプタの12時の位置についたドットやライン、"N"等のマーキングが上を向くように、専用レンチの穴にシャフト・アダプタを挿し、手順 4でシャフトにつけたマスキング・テープ上のマークと、シャフト・アダプタのマーキングをあわせて接着します。溢れ出た接着剤を拭き取ります。



手順 6.
シャフトがシャフト・アダプタ内部で浮かないよう、ゴムハンマー等でシャフト・アダプタを軽く叩き、しっかりと押し込みます。マーキングの向きを再確認したら、適正な養生時間、静置します。接着剤が完全に硬化したら、バットカットが済んでいない場合はカットし、グリップを挿入します。

以上で、FAZ-FIT 2010システムを備えたクラブが1本、完成しました！
ヘッド、シャフトの種類を増やして、フィッティングにお役立て下さい。

○ホーゼル・アダプタの取外し

手順 1.

ヘッド・ホーゼルをヒートガン等で徐々に温め、接着剤を溶融させて下さい。

※ホーゼル・アダプターを直接温めるのではなく、必ずヘッド・ホーゼルを温めて下さい。

手順 2.

H.A.I.Tを挿し、左右どちらかに回し、ホーゼル・アダプターを取り外します。この時、ホーゼル・アダプターは非常に熱くなっていますので、触らないようにご注意下さい。

手順 3.

ホーゼル・クリーニング・ブラシ等で、ヘッド・ホーゼルに残った接着成分を除去します。ヘッドを再利用する場合、ホーゼル底部の接着成分除去には、ドリルやリーマーが必要な場合もあります。

手順 4.

アセトンや各種溶剤を用いて、ホーゼル・アダプターの外側に付着した接着成分を除去します。

再利用する場合は、2ページの「ホーゼル・アダプターの装着」をご覧ください。

○シャフト・アダプタの取外し

手順 1.

傷付きを防ぐため、シャフト・アダプタ上部のシャフトをマスキング・テープで包みます。

手順 2.

シャフト抜き工具にセットし、ヒートガン等でシャフト・アダプタを温めます。加熱は接着剤を溶融させる最低限度にし、決して加熱し過ぎないようにして下さい。

手順 3.

シャフトを抜き取り、シャフト・アダプタが熱くなっていますので、冷ました後、シャフト・アダプタ内に残った接着成分をホーゼル・ブラシやアセトンを用いて除去して下さい。

再利用する場合は、「シャフト・アダプタ装着」をご覧ください。